

千葉県がんセンターが骨肉腫の国際共同研究に参加しました！

2014年5月3日

千葉県がんセンター整形外科 主任医長 岩田慎太郎

千葉県がんセンター整形外科では、千葉県がんセンター研究所と共同で2007年より骨肉腫に関する遺伝子研究を進めて参りました。特に最近では、NPO 法人医療・福祉ネットワーク千葉の骨・軟部腫瘍研究基金からご支援をいただき、骨肉腫のそれぞれの患者さんの抗がん剤の効きやすさを予測できるような遺伝子マーカーについて、がんゲノム研究室の大平先生と共同研究を行っており、その成果を国際学会で発表して参りました。

これらの我々の研究活動が認められ、このたび米国小児がん学会および米国国立がん研究所が主導する、小児がんゲノム研究プロジェクトの骨肉腫分野において、アジアで初となる参加を承認されました。このプロジェクトは、神経芽腫や白血病など、いまだ難治性である6つの小児がんにおいて、米国を初めとする世界中のがん治療組織や研究組織が力を合わせ、包括的なゲノム研究を推進することで、治療標的となりうる新たな遺伝子の発見およびそれらの発見を臨床の現場に役立てることができるようにすることを目的として、2009年より実施されています。

すでに当院に保存されている骨肉腫患者さんの腫瘍組織から採取された遺伝子の一部を、ご承諾をいただいた方の分より米国の研究機関に送らせていただいております。これらは米国をはじめ、カナダや南米の国々より集められた200以上の骨肉腫検体由来の遺伝子とともに様々な解析がなされています。この結果、将来の骨肉腫患者さんに有益となるような新発見がもたらされることが期待されます。

我々といたしましては、これからも本プロジェクトに貢献できるよう、米国の研究組織と連密な協力体制をとって参りたいと思います。またさらには、骨肉腫患者の皆様だけでなく、他の骨軟部悪性腫瘍の患者の皆様よりご提供いただいた貴重な検体を有意義に使わせていただき、これらの病気の治療に役立つ研究成果が得られるよう、これからも努力して参る所存です。

「小児がんゲノム研究プロジェクト(TARGET)」ホームページ

<http://ocg.cancer.gov/programs/target>

(あるいは “TARGET NCI” で検索してください)